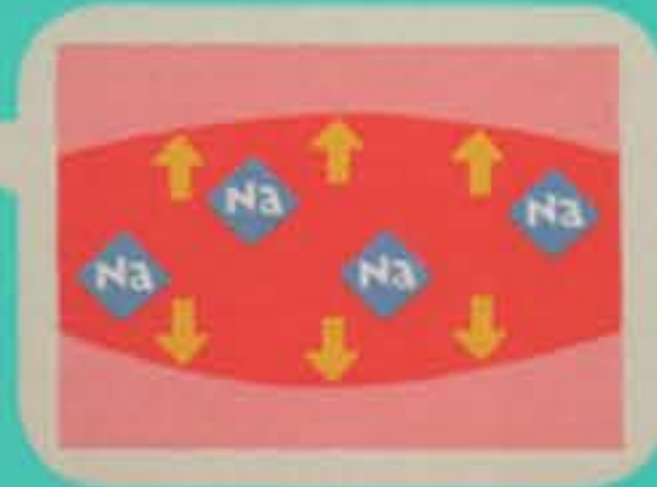


病気に
なったとき 体の中で
起きてることが
見える本

目がかすむ



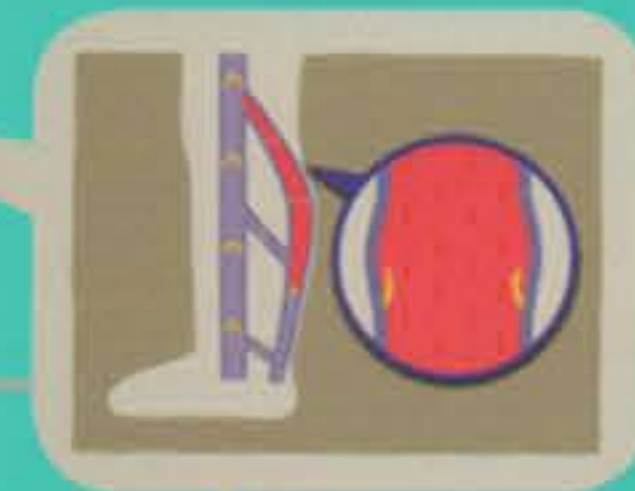
高血圧が下がらない



おしっこが近い



下肢静脈瘤になった

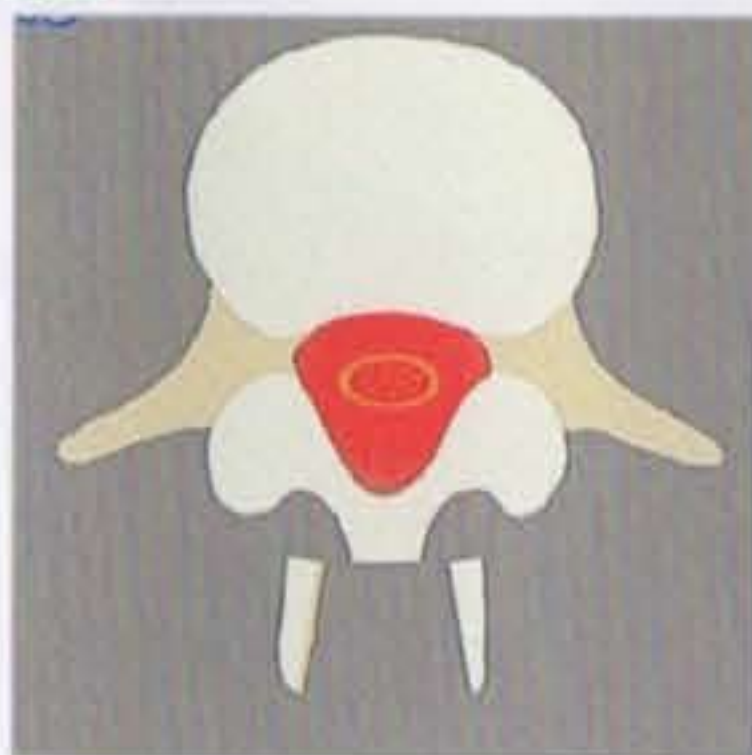


1 「棘突起」に切れ目を入れる



椎骨(椎体、椎弓で構成)の断面。脊柱管を取り囲む椎弓の中央「棘突起」に、器具で切れ目を入れる。

2 骨を左右に広げる



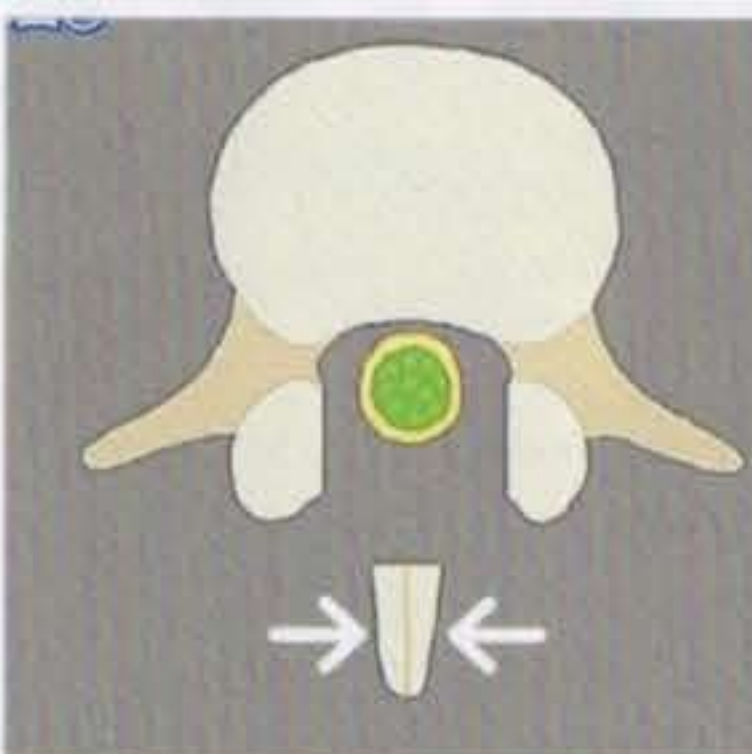
切れ目から骨を左右に広げ、脊柱管の内部に器具を入れやすくする。

3 組織や骨の一部を削り取る



広げた骨の間から器具を挿入し、神経を圧迫している組織や骨の一部、厚くなったじん帯を削り取る。神経を傷つけないように慎重に行う。

4 棘突起を元に戻す



神経を圧迫する原因を取り除き、神経の束が広がる空間を作ったら、左右に広げた棘突起を元の位置に戻す。

治療

圧迫している組織を取り除く手術

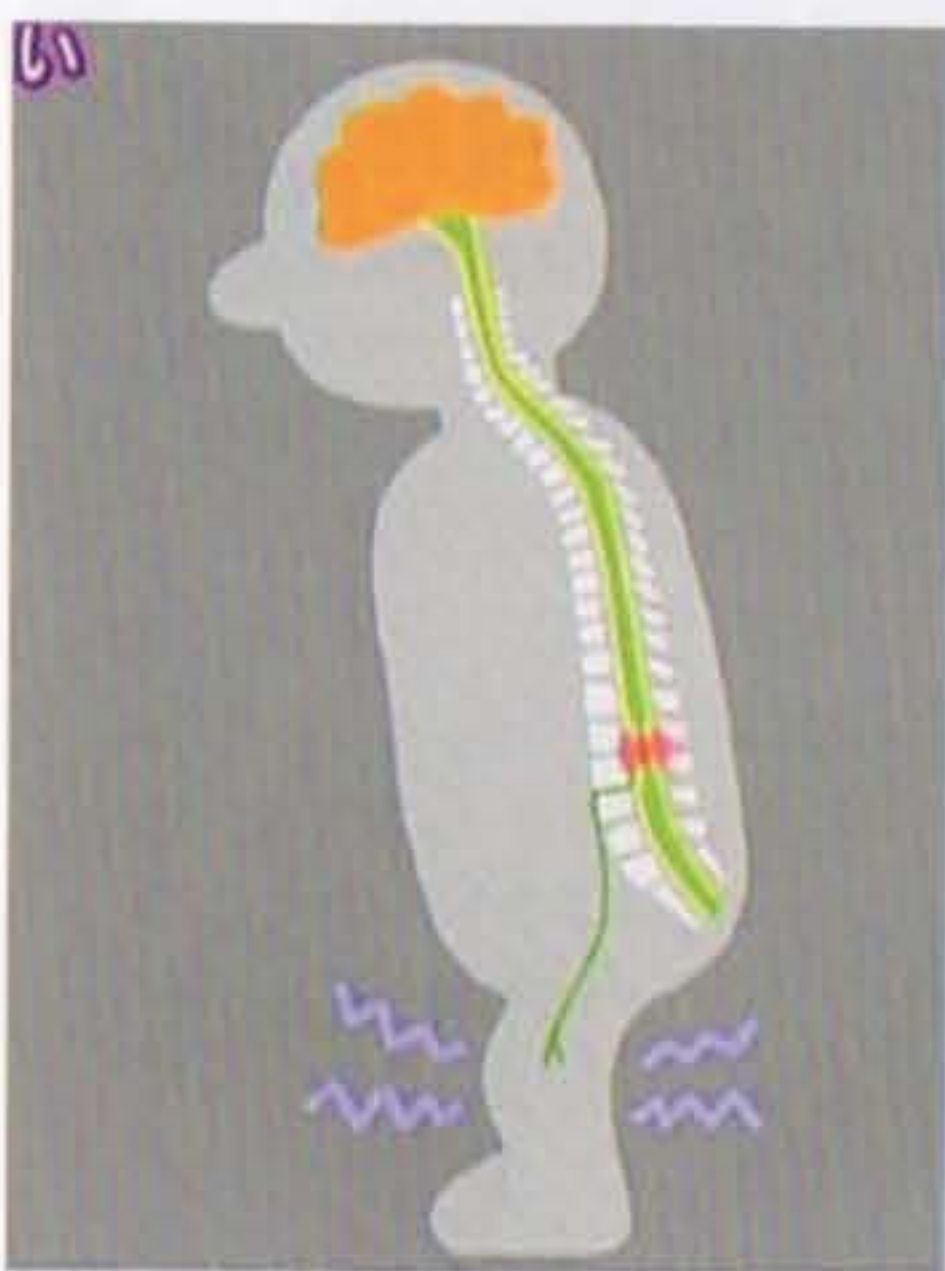
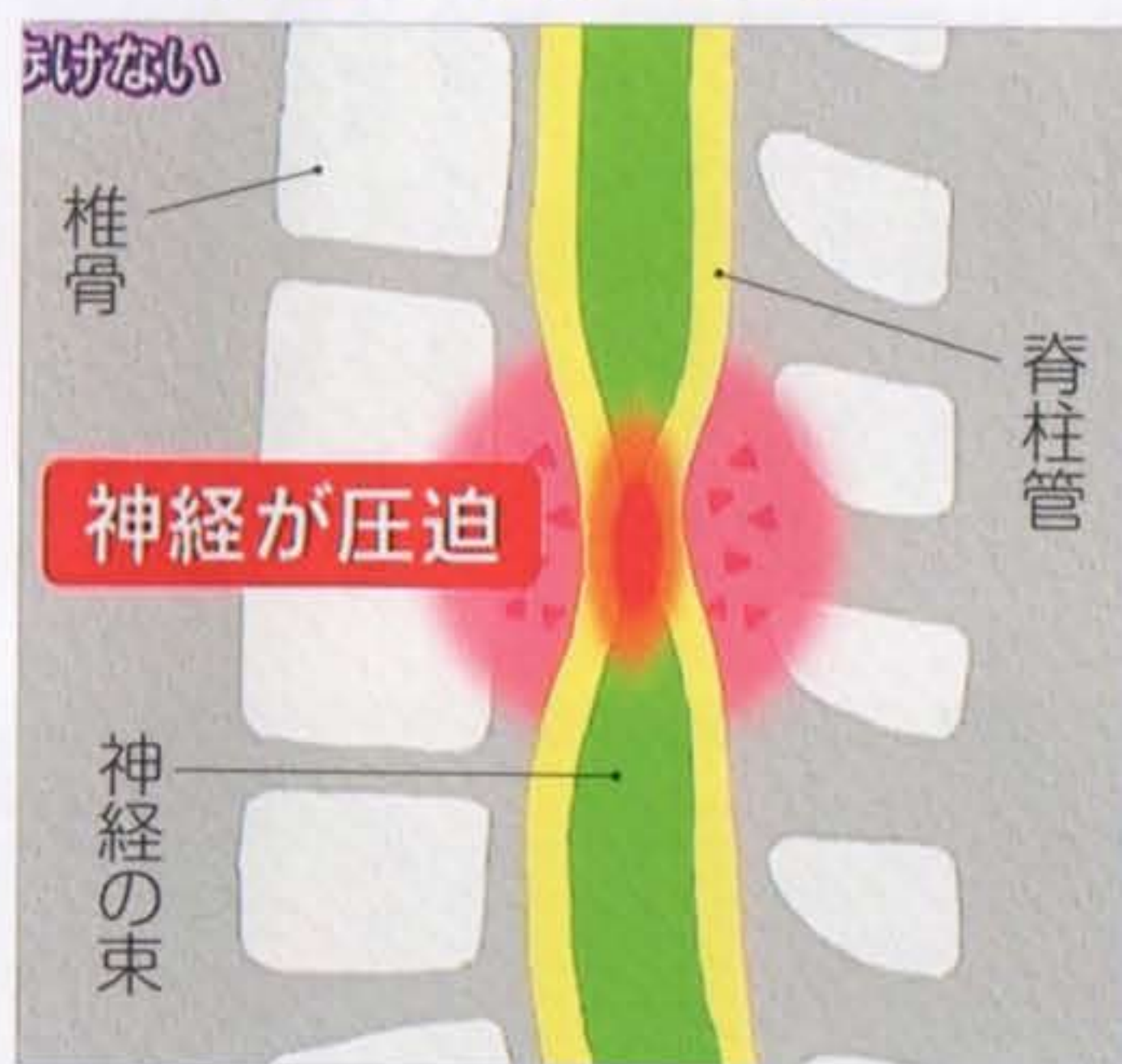
じん帯の厚みを取り除く手術により、しびれが緩和される。入院期間は1週間から10日。手術の翌日からリハビリを開始する。

しびれが続いたときはここを受診して!

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 脳神経外科 | <input type="checkbox"/> 神経内科 |
| <input type="checkbox"/> 整形外科 | <input type="checkbox"/> 総合診療科 |
| <input type="checkbox"/> 脊椎脊髄センター | <input type="checkbox"/> しびれ外来 |

しびれの原因は神経の圧迫

脊柱管の中には、脳から下半身に伸びる神経の束が通っている。関節が変性したりじん帯が厚くなり脊柱管が細くなると、脊柱管の中を通っている神経が圧迫される。



脊柱管の中で足へと向かう神経が圧迫されるため、太ももやふくらはぎにかけてしびれや痛みを感じ、歩行が困難になる。腰痛を伴うことも多い。

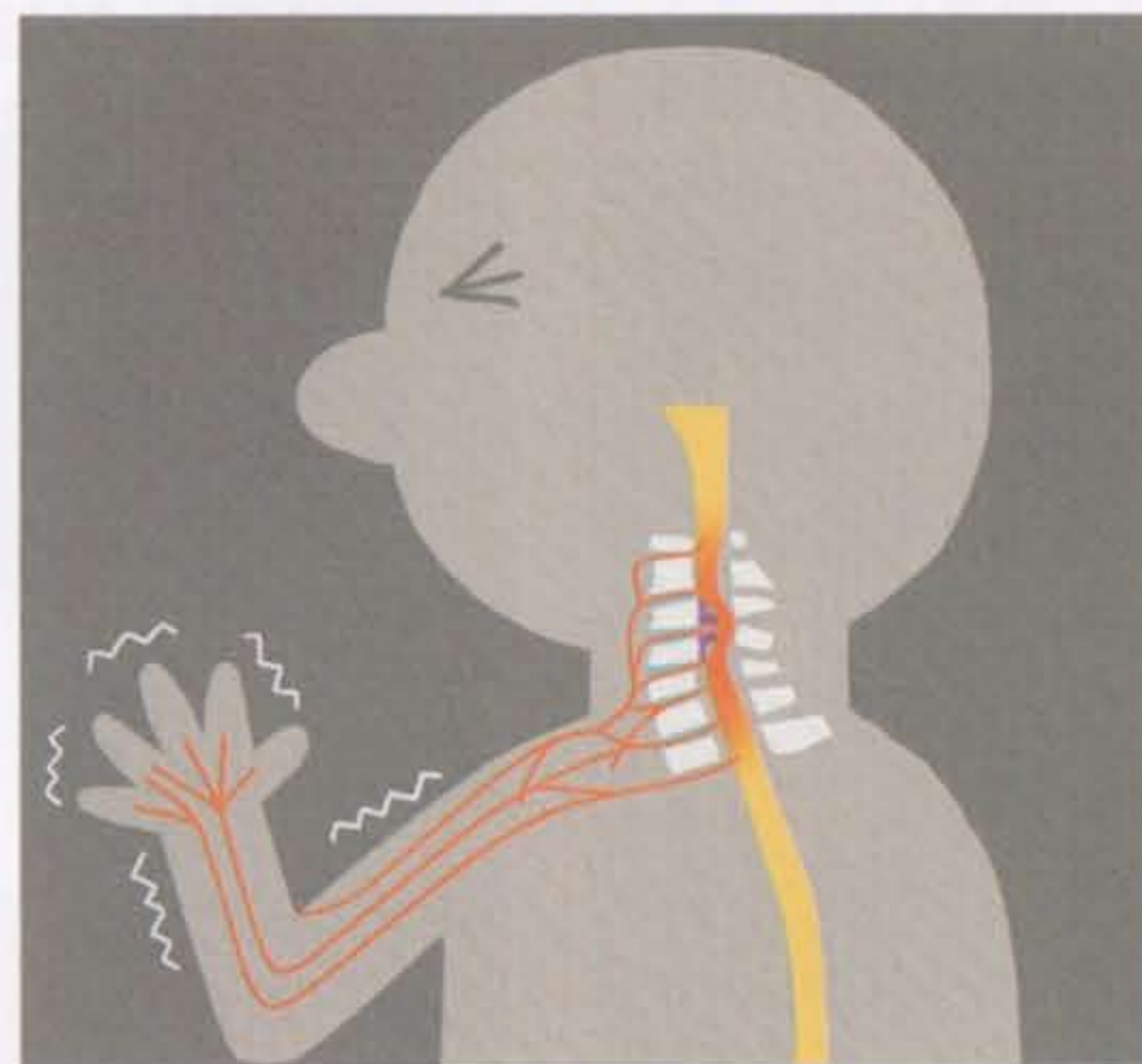
人の背骨は「椎骨」という骨が積み重なってできています。その間の神経が通っている空間が「脊柱管」。脊柱管狭窄症とは、脊柱管の周りにある関節が変性したり、じん帯が厚くなって、脊柱管が細くなり、中の神経が圧迫される症状です。主な原因は加齢。若いころ重労働したり、

スポーツで腰を痛めたりした経験のある人は発症しやすいようです。脊柱管狭窄症のしびれは、歩いているうちに徐々に強まるのですが、少し休むと消える「間欠性は行」というタイプ。自然に治ることはなく、悪化すると頻尿や歩行困難になるケースもあります。

脊柱管狭窄症

は、歩くとしびれる・休むと治る

変形性頸椎症



頭を支えている首の骨「頸椎」が加齢などで変形すると、近くを通っている神経が圧迫されて、手がしびれるようになる。



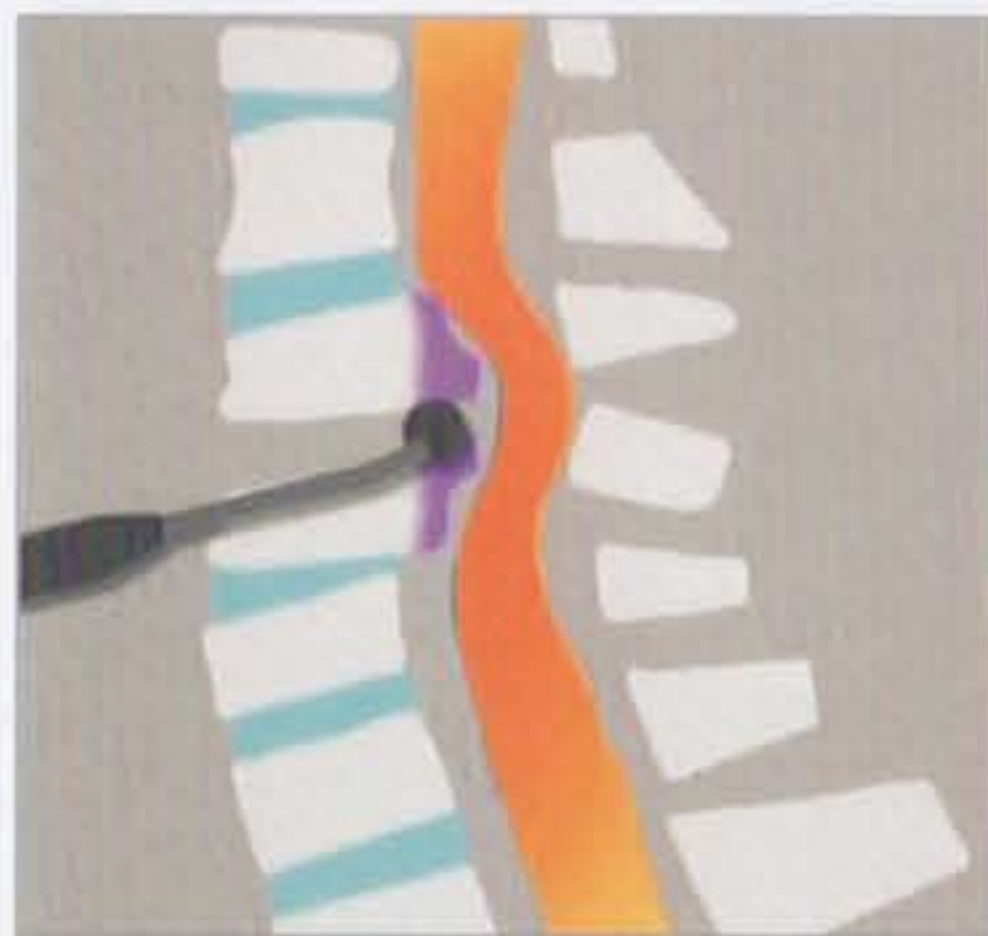
頸椎は7つの骨からできている。近くに「脊髄」「神経根」が通っていて、手の感覚も司っている。「骨棘」は骨の一部が変性して棘（とげ）のようになったもの。

手のしびれには、必ず原因があります。しびれに悩まされている人は、あきらめないで、徹底的に調べることが、改善につながります。「変形性頸椎症」と「手根管症候群」の合併など、しびれの原因が複数あるケースも少なくありません。自然に治る場合もありますが、悪化して日常生活に支障をきたすことも。脳の病気が、手のしびれに現れることもあります。

受診先は、脳神経外科、神経内科、整形外科、総合診療科など。「しびれ外来」を設けている医療機関もあります。受診の前に、どこが、いつ、どんなふうにしびれるのか、まとめておくとういでしょう。

手術

神経を圧迫している骨を取り除く
頸椎前方除圧固定術



首の前から切開をして、取り出した椎間板の空間から飛び出た骨を専用ドリルできれいに切除する。神経を圧迫している骨(骨棘)が除去される。



首を安定させるために、椎間板のところにチタン製のインプラント(ケージ)を入れて固定する。入院は1週間~10日。退院後2週間は装具で首を固定する。

胸郭出口症候群

鎖骨付近を通る神経が圧迫されて、手のしびれを起こす。なで肩、筋肉が発達している人などにみられる。ストレッチや筋トレで改善することがほとんどであるが、症状が強いと手術をすることもある。



とう こつ 橈骨神経まひ



手の甲、親指から人差し指の感覚を司る橈骨神経。腕枕をしたり、松葉杖をついたりしたときにしびれる部分。手首より先が上にあがらない麻痺を生じる。



とうこつ 橈骨神経

ちゅうぶ かん 肘部管症候群

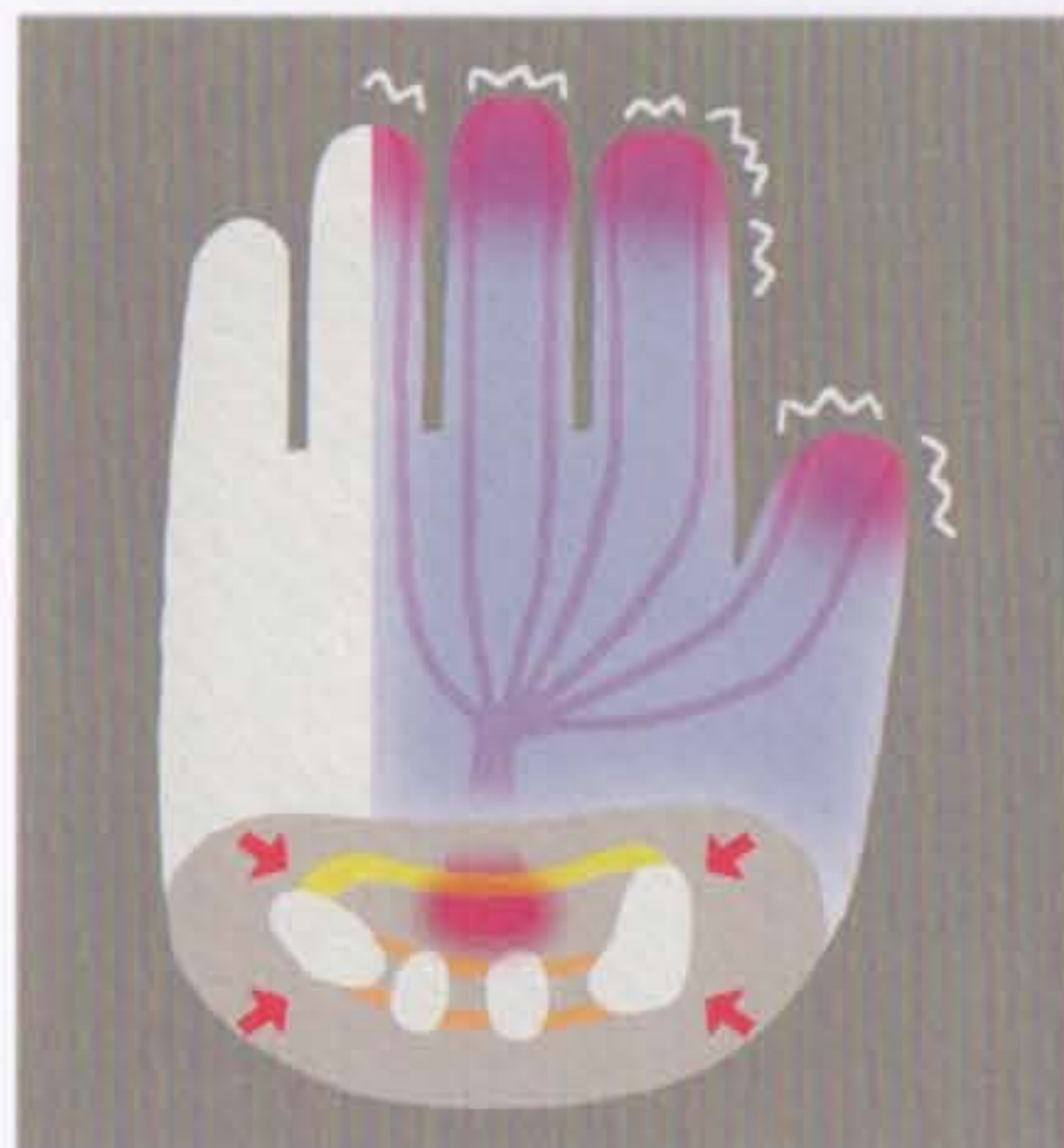


小指と薬指の感覚を司る尺骨神経のしびれ。ひじをぶつけたときにしびれるのが、ここ。尺骨神経のしびれを放っておくと、指が変形してしまうことも。



しやっこつ 尺骨神経

しゅこんかん 手根管症候群



「手根管」とは、手首の内側にある、じん帯と骨に囲まれた部分。何らかの原因で手根管が腫れて、正中神経(親指から薬指の半分までの感覚を司る神経)を圧迫することから、手のひら側の親指や人差し指などにしびれを感じる。



正中神経

手のしびれは、もしかして脳の異常!?

家族や周りの人に見てもらいましょう。

手のしびれの原因の中には、脳梗塞や脳腫瘍など脳の病気が隠れている場合もあります。脳に原因がある場合、しびれの症状は体の上下肢に現れることがほとんどです。手のしびれが脳の病気と関連しているかどうか、チェックする方法があります。

- 1 両腕を前に伸ばす
- 2 両腕を肩の高さまで上げていく
- 3 手のひらを天井に向ける
- 4 目を閉じて、30秒数える

- 水平を維持できない
 - 片手が内側に回る
- という場合は、脳に異常があるのかもしれませんが。医療機関を受診しましょう。

チェックテスト 手根管症候群かどうかを見分けるには



手のひら側の親指や人差し指などにしびれを感じる場合は手根管症候群の疑い

ファーレンテスト



両手の甲を合わせて水平にしたまま、30秒キープ。手根管症候群の場合は、手がしびれてくる。ファーレンテストという。